

ブルキナファソ 2022年 活動報告

	2010年	2016年	2022年
幼稚園の就園率	2.8%	2.9%	6.6%
小学校の就学率	74.8%	86.1%	85.8%
小学校の修了率	45.8%	57.9%	62.0%
中学校の就学率	54.2%	65.7%	45.2%

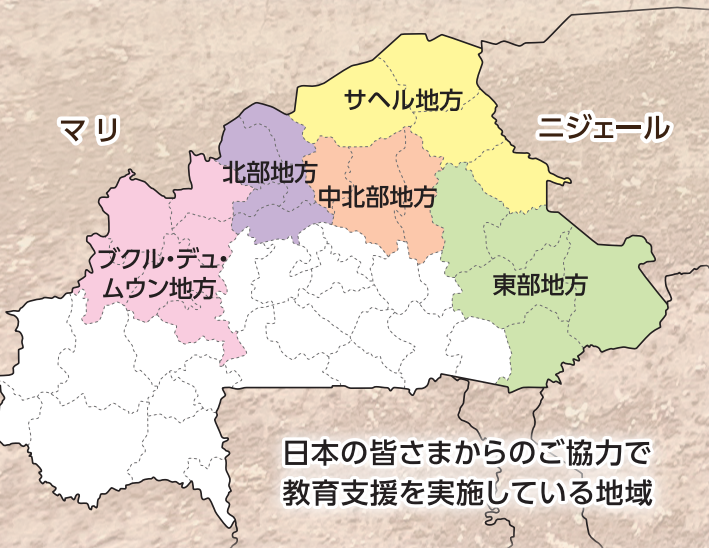
※治安情勢の悪化による学校の休校などの影響により、一部地域で子どもたちの就学状況が後退しています。

日本の皆さまからのあたたかいご協力により、ブルキナファソの子どもたちへ教育支援を届けることができました。心より御礼申し上げます。

ブルキナファソでは、隣国のニジェールやマリと国境を接している地域で、武装勢力の襲撃などにより、治安状況の悪化が続いています。2022年12月現在、180万人以上が国内のより安全な地域への避難を余儀なくされ、その半数が15歳未満の子どもたちです。ブルキナファソの学校の24%にあたる6,383校が休校になり、108万人以上の子どもたちが教育の機会を奪われました(2023年1月時点)。ユニセフは、日本の皆さまからの「スクール・フォー・アフリカ」を通じたご寄付を、治安悪化のリスクが高い地域

で最も困難な状況にある子どもたちの教育支援に活用しております。

ユニセフ・ブルキナファソ事務所の代表サンドラ・ラトゥフは、「学校に通っていない子どもたちは、教育を受けられないだけでなく、暴力や搾取、児童婚、さらには武装集団による徴用の危険にさらされます。教育へのアクセスと質の向上は、将来、人材育成、経済成長、社会的結束、開発といった国の目標を達成するための基盤となることは明らかです。ユニセフは教員研修、教材・学用品の提供、避難民の子どもたちを受け入れるための新しい教室の建設などの支援を行っています」と話します。



教育の大切さを伝える

ユニセフは、保護者や地域住民などを対象に教育に関する啓発活動を実施し、**17,500人**を対象に、治安が悪化している中でも子どもたちが学校に通い続けることの大切さや児童婚などの子どもの権利を侵害する慣習に関するメッセージを伝えました。また、10月から始まる新学期を前に、学校に入学する子どもたちや進級する子どもたちを対象に、「**学校に戻ろう**」キャンペーンを実施しました。キャンペーンでは、ラジオ番組を活用したり、携帯電話会社の協力のもと携帯電話へメッセージを配信したりしました。また、携帯電話のショートメッセージ機能を使って、情報を集めたり、正しい情報を伝えたりできる「U-Report」の仕組みを利用して、多くの若者たちがこのキャンペーンに参加しました。



「U-Report」を通して活躍する若者たち

「子どもにやさしい学校」 で学べるように

すべての子どもが清潔で安心できる環境の中で、質の高い授業を受け修了できるようにユニセフが開発し推進してきた「子どもにやさしい学校」モデル。子どもを第一に考えた学校であること、障がいのある子どもも含むすべての子どもが受け入れられる学校であることを目指しています。

教員研修の実施

子どもたちが質の高い教育を受け、また、治安が悪化している中でも、健康で安全な学校生活を送れるように、**教員600人**を対象に「子どもにやさしい学校」についての研修を行いました。また、治安悪化で心に不安を抱えている子どもたちに教員が適切に対応できるように、心理社会的ケアの研修も実施しました。



授業を受けている男の子

学校の備品や教材の提供

「子どもにやさしい学校」で子どもたちが学べるように、子ども用の机と椅子**1,500台**、教職員用の机と椅子**100セット**、黒板**100枚**、棚**100本**を調達しました。また、厳しい状況に置かれている子どもたちのための学習用教材**5,000セット**を提供しました。

すべての子どもに 教育の機会を

学業が中断してしまった子ども、中退してしまった子ども、学校に一度も通っていない子どもなど、教育の機会から取り残されている子どもたちのそれぞれのニーズに沿った支援を行っています。

学業が中断してしまった子どもための補習授業

治安の悪化により、年度途中で学校に通えなくなってしまった子どもたちが、新学期を迎える前に、学習の遅れを取り戻せるように補習授業を行いました。事前に、補習授業を担当する**教員335人**、**管理者18人**を対象に研修が行われました。子どもたちの心のケアを適切に行えるように、心理社会的ケアの研修も含まれています。補習授業には、60校の小学校から**15,304人の小学生**が参加し、10月からの新学期に備えることができました。

学校に通っていない若者へ職業訓練

避難生活を送っている学校に通っていない**若者約200人**を対象に、職業訓練を行いました。理論と実技の両方を学べるカリキュラムで、理髪(50人)、配管工事(24人)、携帯電話の修理(25人)、溶接(20人)、タイル張り(35人)、電気(50人)のコースで若者たちがそれぞれ学んでいます。理論を学んだ後は、現場に配属され、熟練の職人から実技を学ぶ予定です。



職業訓練を受ける若者たち

学校に通ったことがない子どもための学習センターを開設

これまで一度も学校に通ったことがない9歳から12歳の子どもたちが短期集中型の授業で学び、小学校に編入できるように、2022年10月に10カ所で新たに学習センターが開設されました。一期生として入学した**335人**の子どもたちには学用品が提供され、またWFP(国連世界食糧計画)の協力のもと、給食も提供されています。子どもたちは、今年度は学習センターで学び、次年度に小学校に編入することを目指します。